

# 鹿商高通信

努力以て道を拓き、誠実以て衆に奉ず

# 8月

第6-5号

令和6年8月23日発行

今夏は例年のない猛暑日や各地で頻発するゲリラ豪雨、台風などの影響もあり、気象災害に悩まされました。そんな中でも、鹿商生は課外・校外活動に積極的に取り組み、地域に学び、地域に貢献する高校生として活躍しました。また、3年生は進路実現に向けて直向きに努力を積み重ねてきました。今号では、7・8月に行われた各活動について紹介します。



## 学校の魅力発信！地域を元気に！ - オープンスクール・こどもフェスティバル -

8月3日(土)にオープンスクールを実施しました。当日は、中学生や保護者の方を対象に、学校説明会や体験授業を行いました。参加者は、本校の教育課程(カリキュラム)や特色ある活動、進路状況等に関する説明を受けた後、体験授業として3年生のサポートのもと、自己PRポスターの制作に挑戦しました。中学生の皆さんが、商業高校での学習に理解を深め、魅力を感じている様子を見て、サポートに当たった在校生も励みになりました。また、当日は地域の児童を対象に、NPO法人ケアブレンドの協力のもと「ケアブレンドカフェ鹿島台商業高校こどもフェスティバル」も同時開催しました。中学生の皆さんには、フェスティバルにおける軽音楽部の演奏や、運営スタッフ(ボランティア)の取組を見てもらいました。こどもフェスティバルには、地域の児童や保護者の方に来校いただき、会場では各種ゲーム大会なども行われ、大変盛況となりました。また、当日は、ウェルファムフーズ株式会社「森林どり」の生肉販売と合わせて、児童を対象に「おしごとたいけん(レジ打ち体験)」を実施しました。この体験では、児童を店員、保護者の方をお客様として、お金のやりとりやレジ打ちを行いました。



高校と聞いて少し堅苦しい感じがするなと思いましたが、とても楽しそうに魅力的に感じました。(参加者の感想)



ポスターづくりや軽音楽部のコンサートなど、色々な部分でとても楽しかったです。(参加者の感想)



「おしごとたいけん」では、懐かしいレジを用いて親子間で商品の販売を体験してもらいました。体験した子ども達は、店員さんのマナーやお釣りの計算、お金のやりとりなど、楽しそうに取り組んでいました。



わかりやすく学校の特色を説明していただき、入学後の勉強への不安も解消されるようカリキュラムも組まれており、とても魅力的でした。(参加者の感想)

こどもフェスティバルでは、児童とゲームやおもちゃで遊んだり、運営に取り組んだりしました。教室が子どもたちの笑顔と歓声で溢れ、やりがいを感じる事ができました。

こどもフェスティバルでは、子どもと一緒に遊んだり、お話をしたりして。たくさんの人達を触れ合うことができたことがよかったです。今まではコロナ禍で人と接することがあまりなかったので、このような機会があったことが良い経験になったと思います。遊び場ではゲームボードやプラ板、Switchでのスマブラ、マリオカートの大会が実施され、子ども達が景品のお菓子を目指して、コインを一生懸命に集める姿や楽しそうな笑顔が印象的でした。ボランティアとして参加している私達も楽しく遊ぶことができてよかったです。また、軽音楽部の皆さんも演奏を披露し、会場の教室に入れにくい人達を見て、とても嬉しい気持ちになりました。またこのようなイベントが学校でできたらいいなと思いました。(1年1組:西岡美紅さん)

今回ケアブレンドカフェに参加し、ケアブレンドの意味や子ども達との関わり方などを学ぶことができました。ケアブレンドは、どこかで今、情報が届かないが故に、行政などに相談ができず、子どもが虐待される問題に対して、情報が行き渡るよう困り事がない状態から情報を共有し、地域のつながりを強める集いです。僕はこのイベントで、スマブラ大会とプラ板作成を手伝いました。スマブラ大会では多くの子ども達が集まり、大盛況でした。また、プラ板は思っていた以上に子ども達が集まり、やりがいを感じることもできました。他にもボードゲームや軽音楽部の発表もあり僕自身も楽しむことができました。今回のような行事をこれからも増やしていきたいと思いました。(1年2組:大森絢斗さん)

## 「ミライのわたし」に出会う一歩 - 3年生 夏の進路活動 -

先月より新規高卒者求人票の受付が始まりました。3年生の就職希望者は、夏季休業中も応募前職場見学や応募書類の準備、面接などの試験対策に取り組んできました。また、進学希望者も同様に上級学校のオープンキャンパスに参加したり、各種書類の準備や実践的な試験対策等に取り組んだりするなど、額に汗をかきながら忙しい日々を過ごしてきました。間もなく9月を迎えますが、今後はこれまでの積み重ねを大切に、直前まで気を抜くことなく準備を進め、悔いの残らぬよう試験に臨むことを願います。また、今後の学校生活を通して、社会人に求められる実践力を着実に身に付け、さらに個性を磨き上げてほしいと思います。進路実現(内定・合格)はゴールではなく、あくまでも通過点です。その先の「豊かな人生」を追究し、一日一日を大切にしていきたいです!





模擬面接練習では、お互いによかったところや改善点などをアドバイスシートを通じて共有し、励まし合いました。



就職希望者は面接練習の他、履歴書の作成など、実務的な準備に取り組みました。

進学希望者は、上級学校の方による個別のガイダンスを受け、様々なアドバイスをいただくことができました。



## 誰もが笑顔になれる大崎市を目指して

— 「おおさき高校生タウンミーティング」×「宝さがし未来トーク」 —

8月5日(月)に大崎市役所を会場に行われた「『おおさき高校生タウンミーティング』×『宝さがし未来トーク』」に1年生の代表4名が参加しました。当日は、市内の公私立高校の生徒(約40名)が集い、「私たちがつくる20年後の大崎市の未来」をテーマにグループディスカッションを実施しました。伊藤市長からは「夢を語り合い、こんな地域にしたい、こんな暮らしがしたいという積極的な意見を交わしてほしい。皆さんの意見を『大崎市子ども計画』に反映させ、世界に誇れるまちづくりを目指したい。また、この活動を通して、大崎市やそれぞれの地域の魅力を見直し、自分ができることを発見してくれたら嬉しい。」と高校生の力を期待する熱いメッセージをいただきました。グループディスカッションは、青森大学教授の佐藤淳さんのファシリテーションにより進められ、各グループには伊藤市長をはじめ、大崎市職員の皆さんも参加し、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。また、他校生との交流が深まり、大変有意義で充実した一日となったようです。1学年「わらじプログラム(総合的な探究の時間)」では、「じもと魅力発信プロジェクト」に取り組みます。学習を通して、地域のよさを発見するとともに、社会の一員としての自覚をもってよりよい地域づくりに貢献できる力を身に付けていくことを願います。



20年後の大崎市は、みんなが楽しく笑顔で暮らせる地域であってほしい。そのためにボランティアをしたり、何か支援できたりすることがあれば、協力していきたい…。など、各班の代表者がディスカッションの成果を発表しました。



市長さんともグループに加わって、若い世代と交流してくれました。誰もが住みよい地域をつくるために市役所の皆さんが本気になって考えてくださっているのが伝わってきました。

私達は「おおさき高校生タウンミーティング」に参加して「私たちがつくる20年後の大崎市の未来」というテーマに沿って、他校の人達とカードを使って話し合いました。私が参加した班の話題の中で印象的だったのは、家から歩いて行ける距離にスーパーや買い物ができる場所がないというものです。まだ車の免許が取れない人や歩くのが大変な人達もたくさんいると思うので、誰もが心地よく暮らせるように20年後はよりよい未来であってほしいなと思いました。最初は班の人達も周りの人達も会ったことがない人しかなくて少し怖かったですが、ふだん生活している地域以外の方の話も聞けて、最後は楽しく話し合えました。未来について考えることは、これまであまりなかったもので、こうあってほしいという理想を考えるよい機会となりました。(1年1組:柳田 董さん)

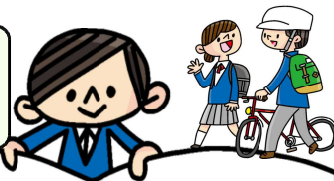
## 安全・安心な社会づくりに向けて

— みやぎ高校生 サイクルサミット2024 —

8月2日(金)に東北工業大学を会場に実施された「みやぎ高校生サイクルサミット2024」に3年生の代表2名が参加しました。本活動は「みやぎ高校生自転車利用マナーアップ活動」の一環として、県教育委員会により毎年開催されている活動で、自転車の交通事故防止と交通ルール・マナーの向上を目指して行われているものです。本年度は、県警察本部交通企画課による講話「県内の自転車事故情勢とヘルメットの着用促進について」と「安全な通学を実現していくための課題を主体的に解決していこう」をテーマとしたグループワークに取り組みました。県内の高校生が一堂に会し、各校での交通安全に向けた取組や自転車利用の留意点、誰もが安全・安心な生活を送るために必要なことなどについて活発な意見交換を行いました。

今回のサイクルサミットでは交通事故のない社会づくりについて、他校生とグループになって話し合いをしました。話し合いでは、自分の高校と他校の活動や自転車利用のマナーの違いを知ることができました。また、グループ毎に利用マナーをさらに良くするためのアイデアを考える機会がありました。私のグループでは無事故の日を長く続けると何かもらえるようにするというアイデアなどがあり、何らかの工夫をすることで利用マナーが良くなると思います。イベントに参加して他校の取組を知ることができてよかったです。(3年3組:伊藤聖恩さん)

他校生と意見を交わし、自他のかげがえのない命を守るためにしなければならないことや、地域の実情に応じてできることなどを考えました。



宮城県鹿島台商業高等学校

〒989-4104

大崎市鹿島台広長字空師前44

TEL 0229-56-2664

FAX 0229-56-2461

https://kasimadai

-ch.myswan.ed.jp



### ◆今後の主な予定

8月27日(火)	第2回模擬面接(短縮授業)
9月4日(水)	第3回模擬面接(短縮授業)
9月6日(金)	3年生進路出陣式・読み聞かせボランティア③
9月9日(月)	第4回模擬面接(短縮授業)
9月16日(月)	就職試験開始
9月22日(日)	全商情報処理検定
9月25日(水)	第2期考査 ※ 9月30日(月)まで
9月28日(土)	県商業実務競技大会

この他、8月14日(水)に行われた「鹿島台わらじまつり」にも参加しました。祭りの様子は9月号で紹介します。